

図書館TA(Cuter)による授業外学習支援

九州大学附属図書館

<https://hdl.handle.net/2324/1906485>

出版情報 : pp. 1-, 2018-02-27
バージョン :
権利関係 :

図書館TA(Cuter)による授業外学習支援

Out-of-Class Learning Support Provided by the Library TA (Cuter)

九州大学附属図書館
Kyushu University Library

Cuterとは？－図書館を舞台に－ Who is 'Cuter'?

図書館TA (Cuter) は「九州大学ティーチング・アシスタント実施要項」において定められた、全学生を対象とする授業外学習等の教育支援業務を行なうTAです。

Cuter is a Library TA that "Kyushu University TA Implementation Requirements" prescribes as one of formal teaching assistants. Cuters provide support for learning out of class at the library.

活動内容 Activities

- 図書館内の学習相談デスクでの案内・指導
- 初年次学生向け各種講座の実施
- web上の学習ガイドの作成
- 学生交流イベント等の企画実施



学習相談デスクでの指導



Web上の学習ガイド

九州大学の基本理念

Basic Philosophy of Kyushu University

- 【目指す姿と行動計画】
「アクティブ・ラーナー」を育成する大学」
- 生きた学問の体験
 - 主体的な知の体系化
 - 学習プロセスの重視

Cuterのミッション Cuters' Missions

- Cuterは、図書館といっしょに九州らしい自ら学び続ける人をつくる。
- Cuter自身が、理想のアクティブ・ラーナーになる。

Cuterの行動指針 Cuters' Action Agenda

- 人をつなぐ
- 好奇心や創造性を刺激する
- 図書館と情報を活かす
- 自ら成長する

人員構成 Personal Organization

修士課程11名（一貫制博士1年含む）、博士課程11名の大学院生を雇用。

<図書館別> 5キャンパス体制、うち4館に配置
中央図書館 5名 伊都図書館 9名
医学図書館 4名 芸術工学図書館 4名

<学部別>

人文科学府	1名	医学系学府	3名
地球社会統合科学府	3名	薬学府	1名
人間環境学府	1名	工学府	3名
法学府	2名	芸術学府	4名
理学府	1名	生物資源環境科学府	1名
システム生命科学府	2名		

合計22名 (2017年10月1日現在)



Cuterの活動－特定の授業の枠を超えて－ Cuters' Activities

初年次学生向け各種講座の実施 Organizing Workshops for Freshperson

【レポートの書き方講座】

Workshops on Academic Writing

【概要】

- レポート課題に取り組み始める学部1年生対象に、平成26年度より実施
- Cuterが講座設計・教材作成・講師の役割を担う
- 講座の学習目標：以下3つを理解すること
レポートを書く意義
レポートを書く手順
レポートを書く上で知っておくべきテクニック

【背景】

- 「レポートの書き方を誰も教えてくれない！」
- インストラクショナル・デザインをもとに図書館員が講座設計の枠組みを示す
- 講義を行うだけでなく、グループワークによるレポート添削演習を取り入れている
- Cuterが複数の班に分かれ図書館員と相談しながら教材を分担して作成
 - 指針となるスライド
 - ダメダメレポート
 - もやもやレポート
 - チェックリスト



委員の会議

年度	開催期間	参加者	実施回数
平成26年度	5月後半	225	6
	7月前半	49	6
平成27年度	5月後半	418	12
	12月前半	8	5
平成28年度	5月後半	384	17
	9月後半	269	17
平成29年度	7月前半	40	9

年度	開催期間	参加者	実施回数
平成29年度	10月後半～11月前半	64	12

【受講者の声】

- 突然レポートと言われても、漠然と不安だったのでレポートが一体どんなもので、どういった主旨や目標をもって書けばいいものなのかわかって安心しました。
- 実際のレポートを見て、ここが良いとかここがダメとか考えたことで、より理解が深まりました。
- 授業では教えてもらえないこともすべて良かったです。
- めっちゃレポートを書きたくなった。あと、スライドやプレゼンの仕方参考になった。

- 科学的探究のプロセスやレポートの重要性についてよく理解できた。
- 結果・考察の違いが分からず、混ざって書いてしまっていたのですが、違いがはっきりしました。
- 他の人と発表し合う時間があつたため、自分の気づかなかった間違いや意見に「はっ」として、今後より意識できそうです。
- 実験に取り組んでみれば、レポート作成のためのプロセスはためになるし楽しいものを感じました。

【学習支援に対する技能・意識向上のために】 Development of the Skills

- 初任者研修・図書館講習会：TAの意義と役割の理解促進。Cuterとして必須の図書館利用・情報検索スキルの獲得
- 大学院基幹教育科目の受講：教授法やプレゼンテーションスキル等の獲得
- 特別研修：東京大学教授・ム・ガリー氏を講師に迎えて、アカデミック・ライティング教育に関する講義とディスカッション

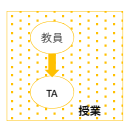
【活動計画作成と振り返り】 Activity Plan and Self Reflection

- 活動計画書の作成：1年間の活動イメージを明確化。自己管理の意識を向上。
- 定例ミーティング：活動計画の進捗確認。図書館職員、他Cuterと活動を評価・改善。
- Web上の活動日誌：Cuterの業務記録。自身の活動の振り返りとともに、図書館職員や他Cuterとの情報共有のための重要なツールに。

Cuterによる授業外学習支援の意義と可能性 Cuters' Significance and their Potential

【組織的位置づけの違い】 Difference of TA's Positions

【従来の授業つきTA】

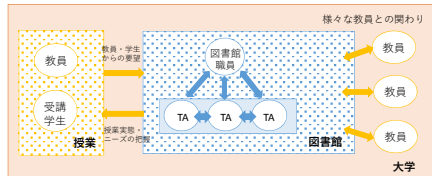


- 1対1の関係
- 仕事は教員の裁量次第
- 他のTAとのつながりは？

【Cuterの声】

- 教えることで自分も学んでいる
- 伝えることの難しさをおもしろさ実感。Cuterの活動をととして、得る自分がやりたいことに気づけた
- 将来教員になるためには、院生時代に専門分野以外で多角的な学びを経験していることが必要

図書館TA (Cuter)



- 図書館職員との協働のもとで活動、複数の教員による指導
- TA間でお互いに学びあう有機的コミュニティ形成
- TAから自発的な企画提案

大学教育の充実

- アカデミックスキル支援（授業の補充）
- Cuterがアクティブ・ラーナーのロールモデルとなり学生の学びの意欲を喚起
- 自立的で多様な学びの場を提供

貢献

大学院生が教育者になるためのトレーニング機会提供

- 教授法、ID・AI手法の習得
- Cuter間の積極的な学び合い、チームワーク力
- 1対1ではない教職員からの指導
- 教育活動の実践の場
→フィードバックをすく活かせる
- 専門知識を様々な局面で活用する実践力
- 企画力・調整力・折衝力